

アマソナス州地域開発計画【ペルー】

施策所管局課 国別開発協力第二課

評価年月日 令和5年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	ペルー共和国
(2) 案件名	アマソナス州地域開発計画
(3) 目的・事業内容 *閣議決定日、供与条件などを 含む	アマソナス州ウトウクバンバ溪谷において、観光振興（観光資源・施設整備、観光行政能力強化、コミュニティ開発）、及び基礎インフラ整備（道路整備、廃棄物処分場建設）を行うことにより、地域開発基盤の整備を図り、もって総合的な地域経済開発及び地域住民の生活水準の向上に寄与するものである。 案件の内容 ・観光振興 ・基礎インフラ整備 ・コンサルティング・サービス ア 閣議決定日：平成24年8月10日 イ 供与限度額：29.05億円 ウ 金利：1.6%（廃棄物処理場建設に係る土木工事については1.0%、コンサルティング・サービスについては0.01%） エ 償還（据置）期間：20年（6年） オ 調達条件：一般アンタイド
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	ア 社会ニーズの現状 本事業計画当初、アマソナス州は天然資源や工業などの目立った収入源に乏しく、自給自足に近い農業が州のGDPの40%を占め、同州の貧困率は55%と全国平均の39%と比べて非常に高かった。同州はクエラップ遺跡やゴクタ滝をはじめとするウトウクバンバ溪谷の豊富な観光資源を経済の牽引資源として期待し、また、ペルー国家政策としても、同州の観光開発は地域レベルでの貧困削減のための施策として重視し、本事業による観光資源へのアクセス改善、廃棄物処理の改善、州政府による観光開発計画の策定及び地域住民による史跡保全への理解向上を計画していた。 現在においても観光業は、ペルー通商観光省（MINCETUR）がウトウクバンバ溪谷等、北部観光サーキットを開発することで観光目的地の多様化を目指すなど、北部地域経済の活性化には欠かせない産業であり、今後も一定数の観光客が引き続き見込まれることから、現在も本事業に関する社会的ニーズがある。 なお、基礎インフラ整備は既に工事が完了している。このうち工事完了後2年以上経過している廃棄物処理場については、対象地域の廃棄物回収率（利用者/当初計画の対象地域の人口）が、ルヤーチャチャポヤス北部地区102%、ルヤ地区99%、ボンガラ地区95%、ルヤーチャチャポヤス南部地区では133%に達する。また処理の裨益人口は何れの地区も目標値に達している。道路整備についても、工事完了後2年となる2024年を目途に事業効果を確認予定である。 イ 事業遅延に関する経緯・現状

	現時点で工事が完了していない観光振興（観光資源・施設整備）について、事業開始に必要な各プロジェクトの国内承認手続きの遅れによりコンサルタント選定手続の開始が遅れたほか、実際の選定においても時間を要した。また、コンサルタント契約に至るまでの遅れに加え、コロナ禍でアマソナス州内への入域制限がかかり、詳細設計を計画どおりに進めることができなかった。その後も設計に基づいた土地の所有権の取得手続、及び国内の各種承認プロセスの再取得に時間を要したが、2021 年以降は詳細設計が進められた。観光資源・施設整備コンポーネントの詳細設計 6 件のうち、現時点で詳細設計を完了したものは 3 件ある。その内、1 件については工事を開始しており、残り 2 件は工事の入札中である。詳細設計が未了となっている 3 件についても 2023 年 8 月に詳細設計が完了予定である。その後、順次施工に係る入札の開始が予定されている。
（２）今後の対応方針	本件に関する社会的ニーズが引き続きあり、事業完成後は当初予定どおりの効果が見込まれる。また、事業の進捗を妨げていた要因は解決していることから、支援を継続する。
３ 政策評価を行う過程において使用した資料等	・交換公文 ・外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 ・国際協力機構の案件検索 ・国際協力機構の事業事前評価表 ・その他国際協力機構から提出された資料